

株式会社4°Cホールディングス
(東証プライム市場 8008)

第72期(2022年2月期)決算説明資料

2022年4月14日

4°C holdings group

Contents

I. 2022年2月期決算概要

II. 2023年2月期取り組みと業績予想

III. 中長期的戦略アプローチ

(株)4°Cホールディングス 代表取締役社長 増田 英紀

※資料内の数値は百万円未満を切り捨て表示し、百分率は原データから算出しております。

当資料の業績予想に関する記述、及び客観的事実以外の記述に関しましては、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、当社の事業をとりまく経済情勢、市場の動向、為替レートなどに関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご了承ください。

Contents

I. 2022年2月期決算概要

II. 2023年2月期取り組みと業績予想

III. 中長期的戦略アプローチ

新型コロナウイルス感染症の拡大が続くなか 緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が期中を通じて発出

- 人流抑制措置の継続により社会経済活動は低迷、
当社グループではジュエリー事業に大きく影響
- コロナ禍を受けて婚姻組数は一時的に大幅減少、
ブライダル関連市場も大幅に縮小
- 一方、コロナ禍による日用品への影響は僅少、
加えて、生活様式の変化に伴いワンマイルウェアの需要が拡大



コロナ禍でジュエリー事業は厳しい経営環境が続くも
アパレル事業への影響は限定的

2022年2月期連結業績の概要

□ 1/6リリース修正発表数値通りの推移

(百万円、%)	第71期 (2021/2)		第72期 (2022/2)				前期比 増減(%)	1/6修正 計画比 増減(%)
	実績	(%)	1/6修正 計画	(%)	実績	(%)		
売上高	39,449	100.0	38,300	100.0	38,050	100.0	▲3.5	▲0.7
売上総利益	21,294	54.0	20,200	52.7	20,066	52.7	▲5.8	▲0.7
売上総利益率	54.0		52.7		52.7		▲1.3	±0
販売管理費	18,527	47.0	18,500	48.3	18,345	48.2	▲1.0	▲0.8
内、のれん償却費	496	1.3	496	1.3	496	1.3	±0	±0
営業利益	2,767	7.0	1,700	4.4	1,721	4.5	▲37.8	+1.2
経常利益	3,195	8.1	2,250	5.9	2,293	6.0	▲28.2	+1.9
当期純利益	1,622	4.1	1,400	3.7	1,490	3.9	▲8.1	+6.4
のれん償却前営業利益	3,264	8.3	2,196	5.7	2,218	5.8	▲32.0	+1.0
のれん償却前当期純利益	2,118	5.4	1,896	5.0	1,987	5.2	▲6.2	+4.7

※のれん償却前営業利益＝営業利益＋のれん償却額、のれん償却前当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益＋のれん償却額 5

セグメント別業績の概要～ジュエリー事業①

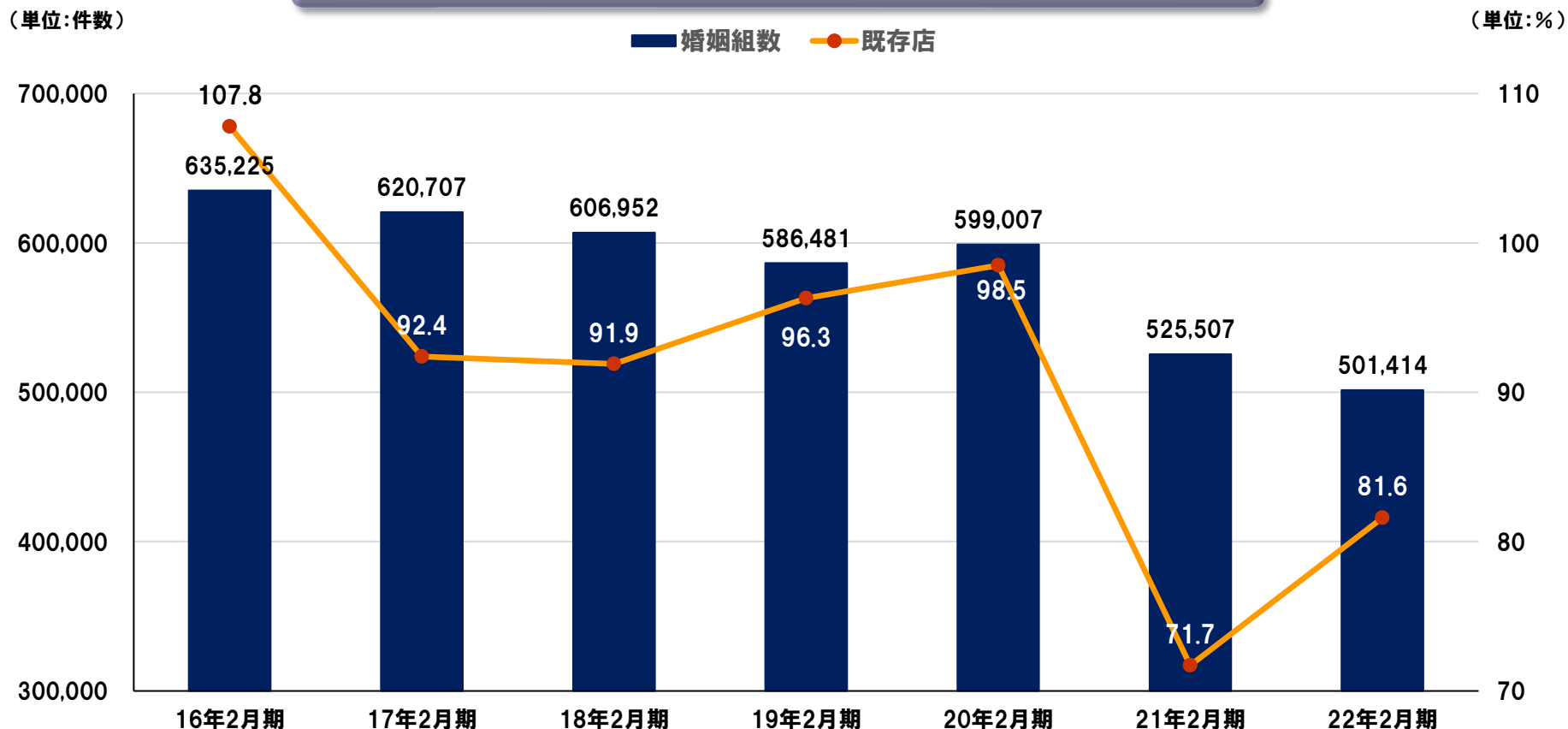
□ ジュエリー事業は、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の長期化の影響により減収減益

(百万円、%)	第71期 (2021/2)		第72期 (2022/2)				前期比	1/6修正値 計画比
	実績	(%)	1/6修正値 計画	(%)	実績	(%)	増減(%)	増減(%)
売上高	20,641	100.0	18,500	100.0	18,424	100.0	▲10.7	▲0.4
営業利益	2,139	10.4	1,100	5.9	1,130	6.1	▲47.2	+2.7

セグメント別業績の概要～ジュエリー事業②

- コロナ禍を受け、婚姻組数が一時的に減少
- 4°Cブライダル専門店の競争力に課題

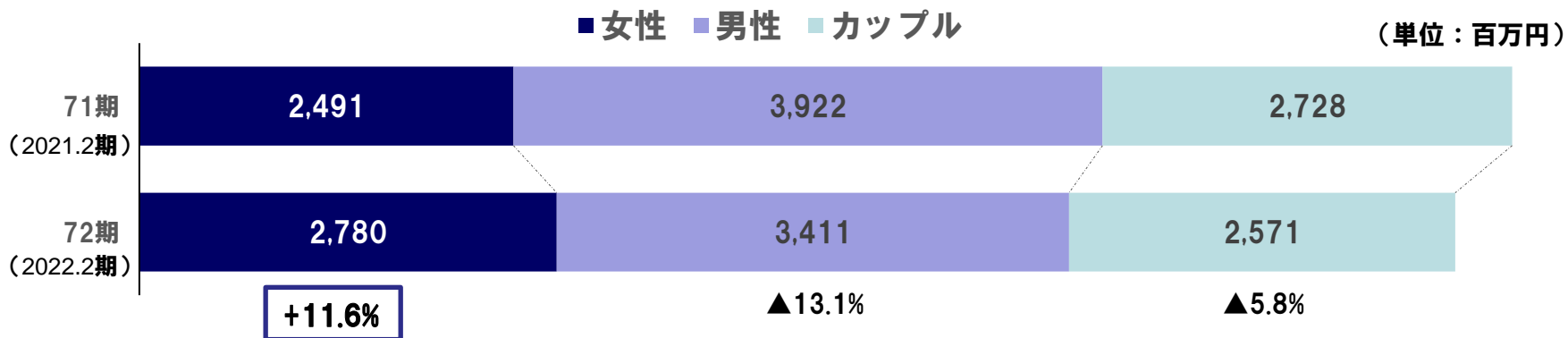
婚姻組数、4°Cブライダル専門店 既存店推移比較



セグメント別業績の概要～ジュエリー事業③

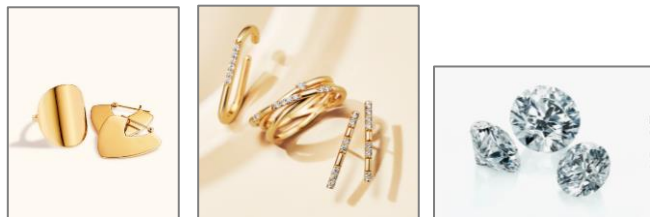
- 通常営業日数は2ヶ月に限られるも女性顧客伸長、支持拡大に手応え
- DtoC 2ブランドをリリース、新たなマーケットの開拓

4°Cファッションジュエリー 顧客属性別 売上高伸長率



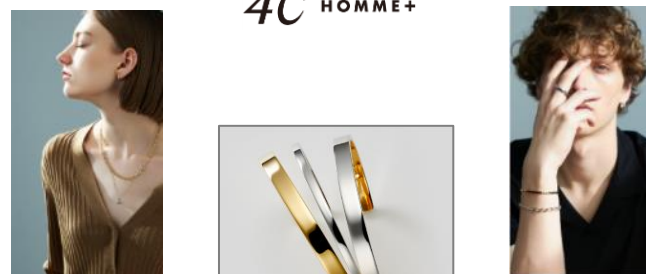
DtoCブランドリリース、新たなマーケット開拓

cofl by 4°C



リサイクルメタル、ラボグロウンダイヤを使用したサステナブルブランド

4°C HOMME+



洗練されたフォルム、研ぎ澄まされたライン
ジェンダーレスなデザイン

セグメント別業績の概要～アパレル事業①

- アパレル事業は増収減益
- 「パレット」は25周年催事の成功、パレット会員拡大(37.3万人→41万人、3.7万人増)
年間8店舗の新規出店により増収増益
- アパレルメーカーは、スポーツ、テーマパーク関連商材が一時的に縮小

(百万円、%)	第71期(2021/2)		第72期(2022/2)				前期比	1/6修正値 計画比
	実績	(%)	1/6修正値 計画	(%)	実績	(%)	増減(%)	増減(%)
売上高	18,807	100.0	19,500	100.0	19,626	100.0	+4.3	+0.6
営業利益	896	4.7	880	4.5	889	4.5	▲0.8	+1.0

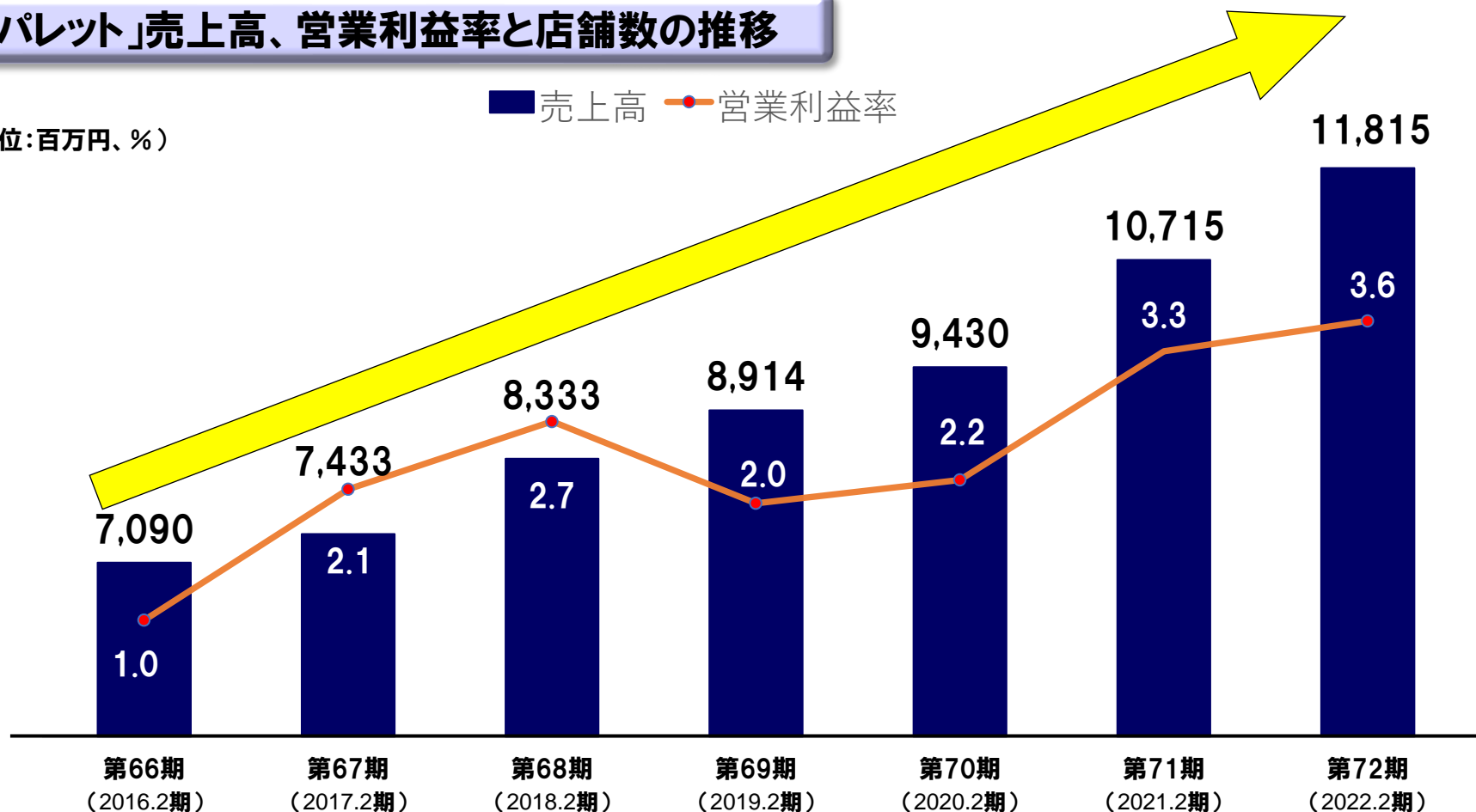
セグメント別業績の概要～アパレル事業②

- 引き続き関西地区のドミナント出店戦略を推進
- 中計目標100店舗、売上150億円体制の確立に向け順調に推移

「パレット」売上高、営業利益率と店舗数の推移

(単位:百万円、%)

■ 売上高 ● 営業利益率



第66期
(2016.2期)

第67期
(2017.2期)

第68期
(2018.2期)

第69期
(2019.2期)

第70期
(2020.2期)

第71期
(2021.2期)

第72期
(2022.2期)

店舗数

58

61

65

71

73

80

88

財政状態、キャッシュ・フローの状況(連結)

- 総資産568億円、負債139億円、純資産429億円
- 営業CF、前期に法人税の還付27億円あり、当期は減少
- 財務CF、株主還元配当金約17億円

財務状況

2022年2月末時点

総資産 568億円	139億円	負債
	429億円	純資産

キャッシュ・フロー

(単位:百万円)	第71期 (2021/2)	第72期 (2022/2)	差額
営業CF	6,633	1,871	△4,762
投資CF	△2,169	106	+2,063
財務CF	△2,515	△1,816	+699
フリーCF	4,464	1,977	△2,487

設備投資・減価償却費の概要(連結)

設備投資額 : 4.7億円 減価償却費 : 8.3億円

(百万円、%)	第71期 (2021/2)	第72期 (2022/2)	前期差
	実績	実績	
設備投資額	722	473	△249

(百万円、%)	第71期 (2021/2)	第72期 (2022/2)	前期差
	実績	実績	
減価償却費	1,026	831	△195

出退店の状況

4°C

holdings group

- ジュエリー事業、不採算店舗圧縮により4店舗減少
- アパレル事業、「パレット」新規8店舗出店

		ジュエリー事業					アパレル事業	合計
		国内					パレット	
		路面店 ブティック	百貨店	ブライダル ショップ	ファッション ビル	計		
第71期 (2021/2)	期末	3	71	40	61	175	80	255
第72期 実績 (2022/2)	出店	0	0	0	1	1	8	9
	退店	0	0	0	5	5	2	7
	期末	3	71	40	57	171	86	257

ジュエリー事業における国内取扱いブランド店舗数の状況

		4°C	4°C BRIDAL	Canal4°C	EAU DOUCE 4°C	合計
第71期 (2021/2)	期末	84	40	45	14	183
第72期 実績(2022/2)	出店	0	0	1	0	1
	退店	2	0	3	0	5
	期末	82	40	43	14	179

※同一店舗にて複数のブランドを扱う複合店は各ブランドごとに1店舗として計上

Contents

I. 2022年2月期決算概要

II. 2023年2月期取り組みと業績予想

III. 中長期的戦略アプローチ

- **アフターコロナ下、人流抑制の動きが続くも、社会経済活動は正常化、リベンジ消費拡大、婚姻組数の大幅回復に期待**
- **インフレによる消費者マインドの冷え込み懸念**
- **資源・素材価格高騰、円安の進行による業績下押し圧力の高まり**

**先行き不透明な状況も
売上高拡大、利益率改善へ向け各施策を実施**

ジュエリー事業

- **ブランド誕生50周年をフックとした商品企画により当社商品への購買意欲を喚起**
- **婚姻組数の回復に伴うブライダルジュエリー伸長に期待**
- **ジュエリーの製品特性上、価格転嫁の消費影響は軽微、収益性を重視した運営**

アパレル事業

- **「パレット」は人流抑制の影響なく、アパレルメーカーはイベント需要の回復に期待**
- **素材価格の高騰リスクにも原価率の抑制と価格戦略の見直しで対応**

ジュエリー事業

- ①女性顧客支持の拡大
- ②「4°C」ブランド誕生50周年記念商品企画、プロモーション
- ③ブライダル専門店「4°C BRIDAL」の競争力強化
- ④「Canal4°C」 駅ビル・ファッションビルの顧客属性にあわせた商品開発
- ⑤「EC」 顧客体験価値の向上にむけたオフィシャルサイトフルリニューアル
- ⑥顧客 ブランドのファンづくりに向けたエンゲージメント強化
- ⑦店舗改装への積極的投資

アパレル事業

- ①デイリーファッション「パレット」(アージュ):
新規出店、パレット会員拡大と既存店伸長による売上高拡大
- ②アパレルメーカー(アスティグループ):
海外生産拠点再構築による収益性維持・向上

- 商品のデザイン性向上、企画力強化
- 『Noble of Water Collection』『Season Collection』等、多彩なコレクションの展開



(4°C Noble of Water Collection)



(4°C Spring Collection)

- 著名スタイリストとタイアップ、ブランドの魅力と訴求力強化
- コアターゲットに向けた情報発信の強化

- 30代女性向け雑誌
『VERY』・『CLASSY』へ巻頭連載タイアップ
- 特設Webページの開設
- 年7回:4月～10月展開予定
- ブランド及び商品の魅力を訴求

□ 「4°C」ブランド誕生50周年記念限定コレクションの展開

4°C

50th Anniversary

第1弾

4月1日展開

第2弾

7月1日展開

第3弾

10月7日展開

- 純度、強度ともに業界最高水準の新素材「4°C Premium Platinum」展開
- ダイヤモンドルース取扱い拡充、専門店の提案力強化



- オフィシャルサイトの機能強化による来店予約数増加
- スタッフの育成による販売力の強化



(「4°C BRIDAL」公式サイト)

- 出店立地悪化への対応、顧客満足度の向上にむけ店舗設計見直し
- 改装による店舗の鮮度・魅力向上

改装前



改装後



(4°C BRIDAL 郡山店)

- トренд、ファッションに敏感な若年女性顧客をターゲットにした商品開発
- 耳周り商材やブレスレットの大幅拡充により女性自家需要を伸ばす



- タレントを起用した「Canal4°C」独自のプロモーション戦略を推進
- 「Sweet」連載タイアップやデジタルプロモーションなど

著名人とのコラボ・タイアップ
による認知拡大

Instagramフォロワー数33万人
村田倫子さんとの
コラボレーションジュエリー



2022年4月8日(金)デビュー・完売



支持拡大に向けた
情報発信の強化

- 20代OL女性向け雑誌『SWEET』へ
巻頭連載タイアップ、タレントとの連載
- 年6回:6月～11月売り

- 2022年3月にオフィシャルECサイトのフルリニューアルを実施
- コンテンツの充実、検索機能の強化等によるお客様の利便性向上

4°C JEWELRY ONLINE SHOP

Brand

Jewelry

Bridal

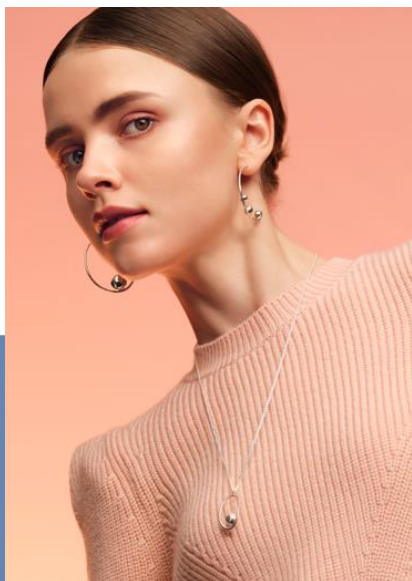
Shop List

News

Guide



Collection



4°C

50th Anniversary Collection



Canal 4°C

Spring Collection



cofl 4°C

Geometric Form



4°C HOMME+

Motif Collection

□ 次期もDtoCブランドの開発による新規マーケットの開拓へ挑戦

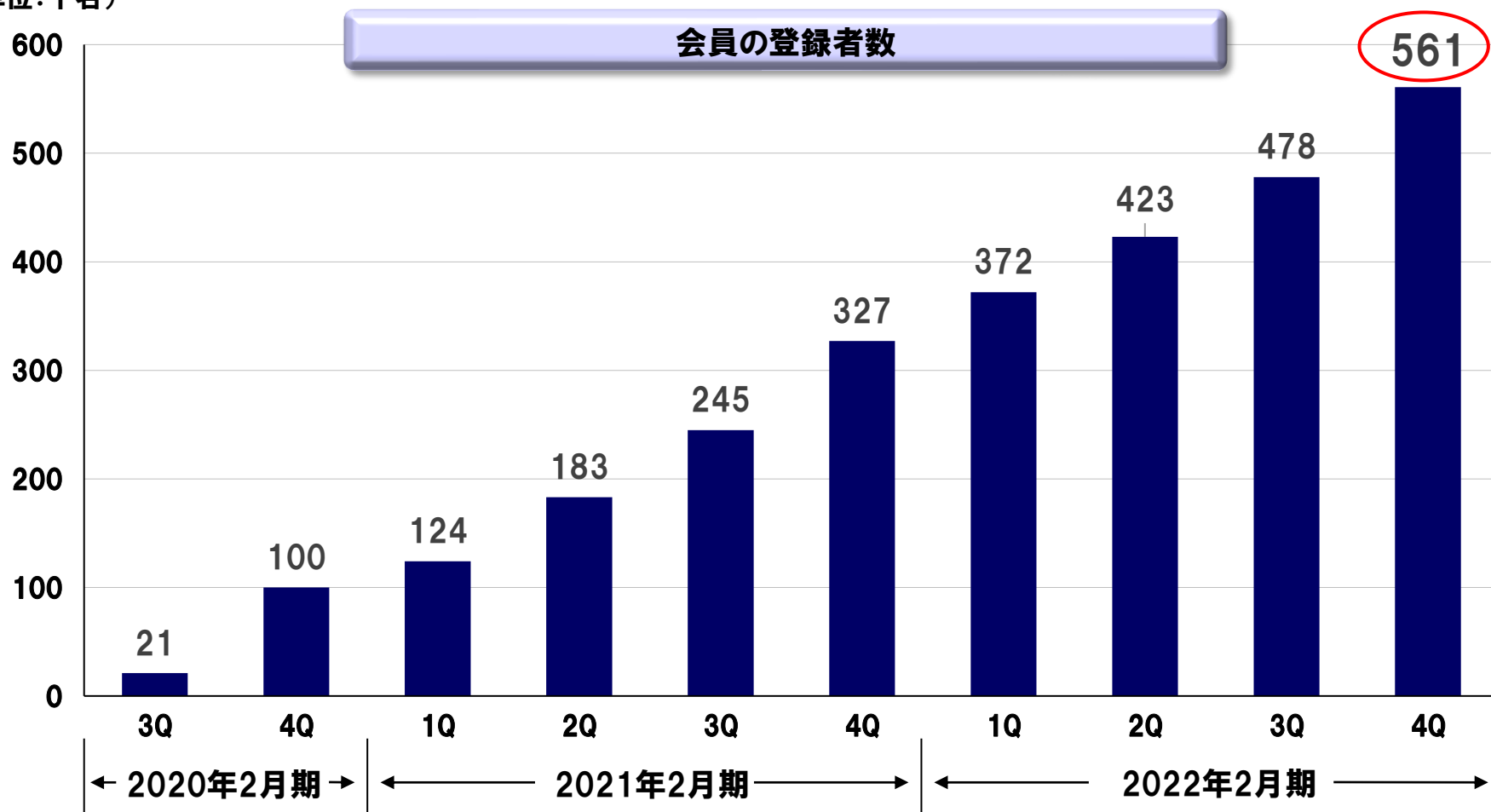


Coming Soon



- マーケティング専門部署を新設、顧客分析力と施策実行力強化
- リピート率向上にむけ顧客エンゲージメント強化

(単位:千名)



□ 「4°C」15店舗、「4°C BRIDAL」10店舗、「Canal4°C」5店舗の計30店舗を改装・改修予定

□ 改装効果による店舗の魅力、集客力の向上を目指す



「パレット」出店による売上拡大

- 関西ドミナント戦略推進、2023年2月期10店舗新規出店計画
- 関東圏への出店着手
- パレット会員の拡大と既存店の成長(41万人→45万人へ)

「パレット」関西エリア出店地域

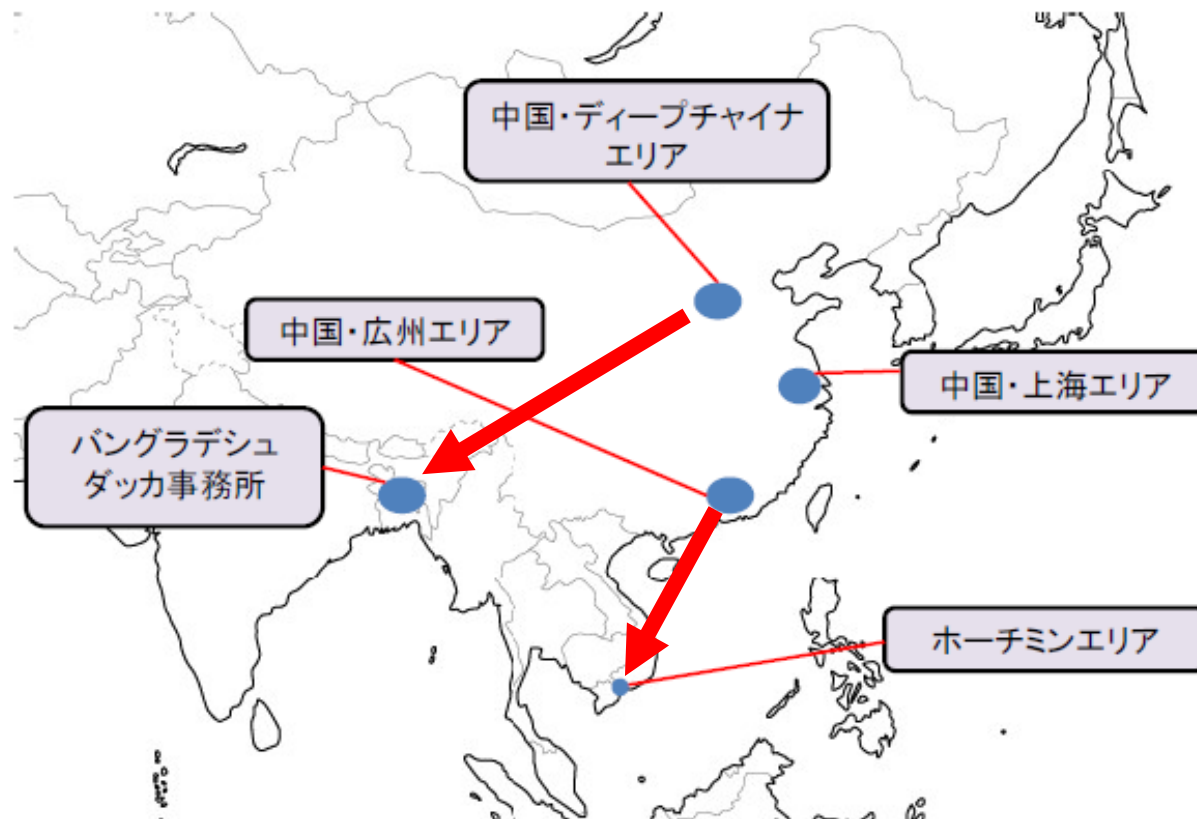


Copyright(C) T-worldtias All Rights Reserved.



- 予測される原価高騰に対し、中国生産の一部を アパレルはバングラデシュへ、バッグはベトナムへシフト
- スポーツ、テーマパークの取引回復、ユニフォームの収益性改善により 売上高、利益の成長を図る

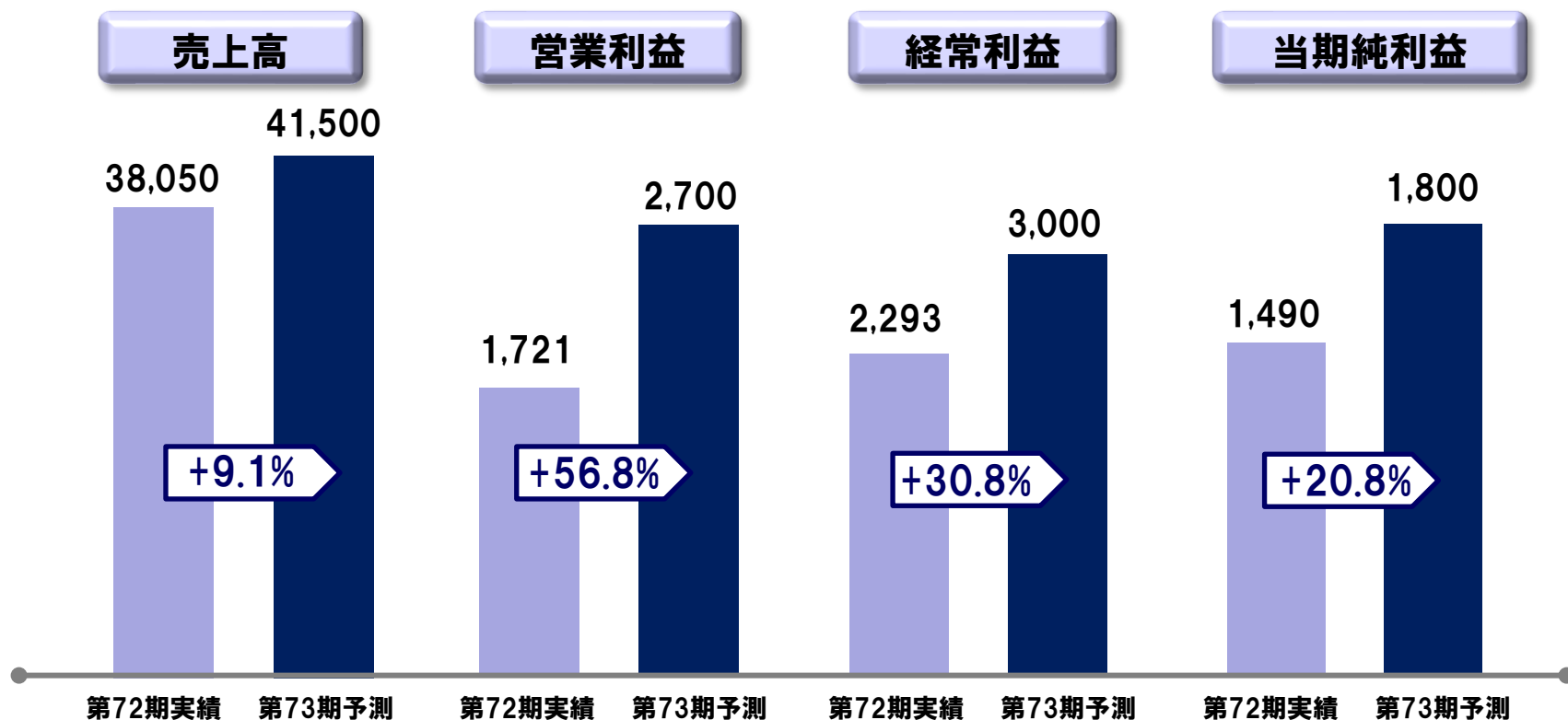
アパレルメーカー サプライチェーンMAP



2023年2月期連結業績予想①

□ 次期業績見通しはジュエリー事業回復とパレットの出店拡大により
売上高415億円、営業利益27億円と増収増益の計画

(単位:百万円)



2023年2月期連結業績予想②

(百万円、%)	第72期(2022/2)		第73期(2023/2)		前期比
	実績	(%)	通期予想	(%)	増減(%)
売上高	38,050	100.0	41,500	100.0	+9.1
売上総利益	20,066	52.7	22,000	53.0	+9.6
売上総利益率	52.7		53.0		+0.3
販売管理費	18,345	48.2	19,300	46.5	+5.2
内、のれん償却費	496	1.3	496	1.2	±0
営業利益	1,721	4.5	2,700	6.5	+56.8
経常利益	2,293	6.0	3,000	7.2	+30.8
当期純利益	1,490	3.8	1,800	4.3	+20.8
《参考》	第72期(2022/2)		第73期(2023/2)		前期比
のれん償却前営業利益	2,218	5.8	3,196	7.7	+44.1
のれん償却前当期純利益	1,987	5.0	2,296	5.5	+15.6

※のれん償却前営業利益＝営業利益＋のれん償却額、のれん償却前当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益＋のれん償却額

2023年2月期セグメント別連結業績予想 (内部相殺前数値)

ジュエリー事業

売上高205億円、営業利益19億円を予測

- 「4°C」ブランド創設50周年をフックとした各施策への取り組み、ブライダルジュエリーの回復により売上成長回復の計画
- 価格転嫁に抵抗なく、高収益体質を維持

アパレル事業

売上高210億円、営業利益10億円を予測

- 「パレット」の出店拡大、アパレルメーカーの取引回復により売上高は拡大の見通し
- 原価の高騰が見込まれるなか、価格戦略の見直し及び物流経費の抑制により利益率改善を目指す

(百万円、%)		第72期 (2022/2)	第73期 (2023/2)	
		実績	予想	前期比
ジュエリー事業	売上高	18,424	20,500	+11.3
	営業利益	1,130	1,900	+68.1
アパレル事業	売上高	19,626	21,000	+7.0
	営業利益	889	1,000	+12.5

出退店の計画

4°C

holdings group

- ジュエリー事業: スクラップ&ビルドの実施、純増2店舗の計画
- アパレル事業: 「パレット」新規10店舗出店の計画
- ジュエリー事業での積極的な移転・改装・改修を計画

		ジュエリー事業					アパレル事業	合計
		国内ジュエリー					パレット	
		路面店 ブティック	百貨店	ブライダル ショップ	ファッション ビル	計		
第72期 実績 (2022/2)	期末	3	71	40	57	171	86	257
第73期 計画 (2023/2)	出店	0	2	1	6	9	10	19
	退店	0	2	1	4	7	1	8
	期末	3	71	40	59	173	95	268

ジュエリー事業における国内取扱いブランド店舗数の計画

		4°C	4°C BRIDAL	Canal 4°C	EAU DOUCE 4°C	合計
第72期実績 (2022/2)	期末	82	40	43	14	179
第73期 計画 (2023/2)	出店	4	1	4	0	9
	退店	2	1	4	0	7
	期末	84	40	43	14	181

※同一店舗にて複数のブランドを扱う複合店は各ブランドごとに1店舗として計上

※出退店のうち「4°C」の2店舗、「4°C BRIDAL」及び「Canal4°C」の1店舗は館内移動によるもの

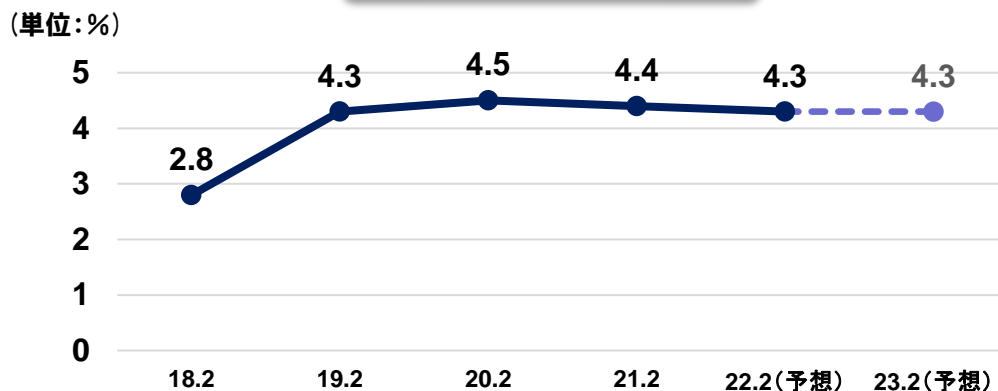
株主還元方針、配当

4°C

holdings group

- 安定的・継続的な配当と機動的な自己株式の取得により利益還元の水準向上を目指す
- 株主還元の目標、自己資本配当率(DOE)4%以上
- 将来の100円配当の実現を目指す
 - 2022年2月期は2円増配の83円にてDOE4.3%を予想(11期連続増配)
 - 2023年2月期は年間配当83円を予定

DOEの推移



(百万円、%)	第68期 (2018/2)	第69期 (2019/2)	第70期 (2020/2)	第71期 (2021/2)	第72期予想 (2022/2)	第73期予想 (2023/2)
年間配当(一株当たり)	65	75	80	81	83	83
DOE(自己資本配当率)(※1)	2.8	4.3	4.5	4.4	4.3	4.3
配当性向	31.4	78.1	71.3	108.0	119.3	98.8
実質配当性向(※2)	28.7	64.9	69.2	82.7	89.5	77.8

※1.DOE(自己資本配当率) = 配当総額 ÷ 自己資本

※2.実質配当性向: 年間配当金総額 / のれん償却前当期純利益

Contents

I. 2022年2月期決算概要

II. 2023年2月期取り組みと業績予想

III. 中長期的戦略アプローチ

様々な外的要因による影響、先行きは不確実性が高い

第6次中期経営計画の数値目標ローリングは見送りへ

中期経営計画での施策継続

ジュエリー事業はブランド価値向上と収益力強化へ注力
アパレル事業成長でトップラインの拡大

高い収益力を誇るジュエリー事業の早期回復へ向け
分析力、施策推進力の向上に取り組む

「4°C」ブランドの優位性

高いブランド認知度

男性ギフトニーズに強み

全国規模の店舗網

マーケットの環境変化

- コロナ禍の影響による男性ギフトニーズの縮小
- マスマーケットの縮小と消費者の価値観の多様化
- デジタル化による、リアルとWEBの融合

強みであった男性ギフトニーズ縮小
デジタル化で顧客接点に変化の兆し

マーケットの変化に対し
事業戦略を転換、成長分野の伸長を目指す

成長分野

女性顧客の拡大

ECの拡大

顧客化・リピート率向上

「ジュエリーへの女性・消費者の価値観」

+

「4°C」ブランドの世界観・商品力

+

マーケティング・プロモーション戦略

女性顧客の支持拡大を起点に更なる需要の拡大へ

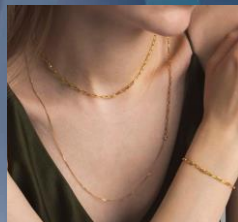
女性顧客の支持

ファン顧客

男性ギフト



Collection



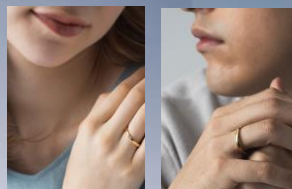
コーディネート



Bridal Jewelry



親から子へ



記念日



Baby's Collection

盤石な財務基盤のもと、持続的成長に向けた各種投資を実行

- ① **ブランド価値向上・マーケティング投資**
好感度を高める継続的な広告・販売促進活動
- ② **出店投資**
「パレット」成長投資、強固な事業ポートフォリオの構築
- ③ **システム・DX投資**
デジタル社会への移行、環境変化への対応
- ④ **人財投資**
持続的な企業価値の向上に向けた人的資本の強化

企業の永続に向けた人財投資の実行

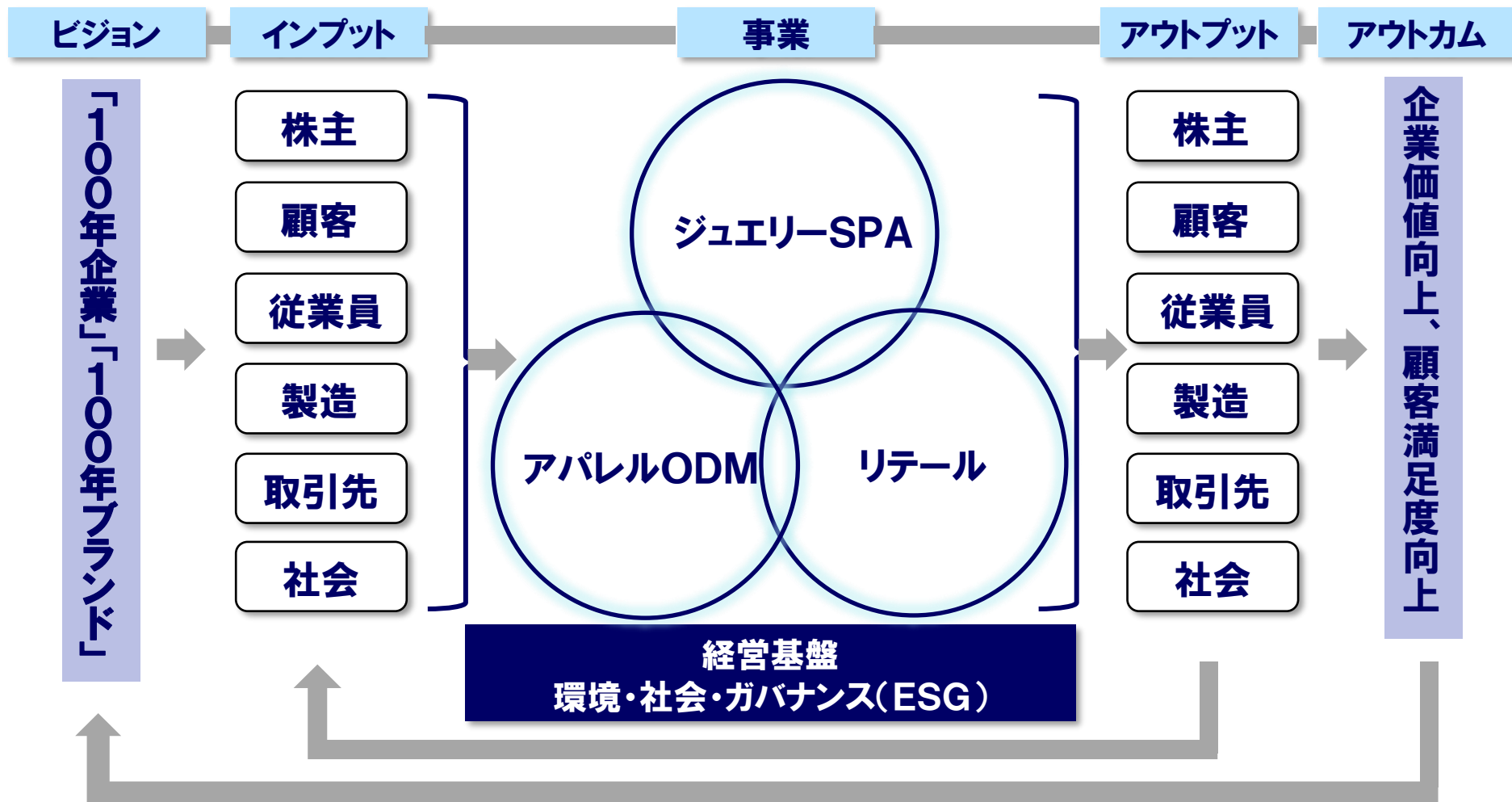
- 体系的な教育体系の構築、階層別にスキル・マインドを特定
- 若手役員、役員候補者、女性幹部候補者への教育投資
次期経営者育成に向けた積極的取組

4°Cホールディングスグループ 教育体系図

	経営人財養成	企業文化醸成			事業価値向上		
	次世代リーダーの育成	価値観や理念の伝承 信頼関係・一体感づくり			事業価値を高める 専門スキル向上		
役員	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> 若手経営者懇談会 アドバンスト・スクール 女性活躍支援プログラム </div>	まっとうな経営塾	ダイバーシティ	風土改革	考課者訓練 コーチング	マーケティング ファッショントレンド	
部長							DX
課長							
若手社員 (1~5年目)							

安定的・継続的成長に向けて～持続的価値の創出

ジュエリーSPA、アパレルODM、リテールの3事業で価値拡大を目指す



サステナブル経営の推進 持続可能な社会の実現と企業の永続・成長を目指す

サステナビリティ基本方針の制定

企業活動を通じて、持続的な社会の実現に貢献するための方針として制定

環境方針

- 脱炭素社会・循環型社会構築への貢献
- 法令・コンプライアンスの遵守

人権方針

- あらゆる差別・ハラスメントの撤廃
- 強制労働、児童労働、人身取引の排除
- 人権侵害の加担回避
- 職場環境への配慮
- 従業員の基本的権利の尊重

調達方針

- 公正・公平・透明な取引
- 法令・コンプライアンス遵守
- 人権・労働への配慮
- 環境への配慮
- お取引先様との相互の繁栄

人財方針

- 育成・教育による能力開発と
キャリア形成の支援
- ダイバーシティの推進

サステナビリティ委員会の新設

人権・環境問題をはじめとしたサステナブル経営に関する重点課題について協議
サステナブルに対する目標設定および取り組み状況の確認、対策の検討

TCFD提言のフレームワークに基づく気候変動に係る 開示に向けた取り組みスタート



出典:環境庁ホームページ(https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/estimate_tool.html#no00)

2023年には非財務情報の開示を予定

4°C

holdings group

本資料ならびにIRに関するお問合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社4℃ホールディングス

経営企画部 福原(フクハラ)

TEL 03-5719-3295

E-mail ir-yondoshi@yondoshi.co.jp

※将来に亘る部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。

予想と異なる結果となる可能性があることをご認識の上ご活用下さい。